

令和元年日本熱物性学会第3回(2019-3)役員会議事録

日時:令和元年9月7日(土)役員会 13:59~16:15

場所:東京工業大学田町キャンパス キャンパスイノベーションセンター 5階501

出席者:(五十音順・敬称略)

遠藤理恵(東工大)	大村高弘(和高専)
岡部孝裕(弘前大)	小原拓(東北大)狩野祐也(産総研)
狩野祐也(産総研)	川南剛(明治大)
菊川豪太(東北大)	齊藤敬高(九大)
須佐匡裕(東工大)	田中勝之(日大)
長坂雄次(慶應大)	西田哲也(水産大)
羽鳥仁人(ベテル)	平澤良男(富山大)
堀部明彦(岡山大)	宮崎康次(九州工大)
元祐昌廣(東理大)	桃木悟(長崎大)
森川淳子(東工大)	山田純(芝浦工大)
山田修史(産総研)	山田雅彦(北大)

審議事項:

平澤会長より挨拶があった。

議 題:

(1) 前回議事録確認・・・・・・・・・・資料番号:19-4-1

森川副会長より資料19-4-1に基づき議事録の確認があり、以下を修正の上、了承された。

(7) の資料番号18-2-7-○を19-2-7-○に修正する(2か所)。

(2) 第39回日本熱物性シンポジウム準備状況・・・・・・・・・・資料番号:19-4-2

桃木シンポジウム担当理事より資料19-4-2に基づき準備状況について報告があった。

- ・1日目の参加登録受付は8:00に変更する。
- ・GSの座長は今後依頼する。
- ・プログラム(暫定版)はWEBへ掲載済である
- ・アトラクションの龍踊りはしない。

(3) 総会に関する事項・・・・・・・・・・資料番号:19-4-3-2, 19-4-3-3(1)~(3), 19-4-7-2(1)~(4)

・ 令和元年学会賞候補者・名誉員顕彰者

山田純表彰委員会委員長より、資料19-4-7-2(1)~(4)に基づき、令和元年功労賞候補として新里先生(九州大学)、名誉員候補として高橋一郎先生(山形大学)、貢献賞候補として山田修史先生(産総研)の推薦があり、承認された。また、令和元年論文賞候補1件(山下先生(産総研)のグループ)、奨励賞候補者2名(江目先生(山形大)、松浦先生(東大))について提案があり、承認された。感謝状を近藤弓紀子さんに贈るこ

とが了承された。

・ 第40期役員候補者について

森川副会長より、資料 19-4-3-2 に基づき、第 41 期(令和 2 年)評議員候補者が示された。書記担当を決める必要がある。平澤会長より、次期会長として小原拓先生（東北大学）、副会長には竹歳尚之先生（産業技術総合研究所）を候補者とすることが説明され、了承が得られた。小原先生の承諾はすでに得られている。副会長候補者への打診は、会長・理事が行う。

・ 総会資料と進め方

森川淳子事務局担当副会長より、資料 19-4-3-3(1)~(3)に基づき、第 40 回シンポジウム期間中に開催される総会の資料案および進行表案が提示され、以下を修正の後に了承された。

- ・ P40, 3. 会誌「熱物性」発行の委員長は”第 12 期”である。
- ・ P41, 一般講演 GS10 の“原始”を“原子”に修正する。
- ・ P42, 広報委員会委員長を“元祐昌廣”に変更する。
- ・ P53, 第 41 期東京連絡事務担当として森川淳子(東工大)を記載する。
- ・ P53, 会員情報担当は事務局が行うのが適当であると山田雅彦規約等整備担当より説明があった。現実に合わせて、会員情報担当は事務局担当副会長(堀部先生)が担当する。
- ・ P53, 第 41 回日本熱物性シンポジウムの実行委員長は重里先生に修正する。熊野先生はシンポジウム担当理事(評議員)である。
- ・ P53, “第 14 期編集委員会委員長”を“第 13 期編集委員会委員長”へ修正する。
- ・ P55, 懇親会のスタートを 18 時 40 分に修正する。欄外の“17:30 には全て終了する”を“17:20 には全て終了する”に変更する。

(4) 第 41 回日本熱物性シンポジウム準備状況・・・・・・・・・・資料番号：19-4-4

森川副会長より、第 41 回日本熱物性シンポジウムの準備状況についての報告があった。

(注記)(第 41 回シンポジウムの内容記録のため)理事会・役員会終了後に資料の差し替えがあった。

(5) 第 42 回日本熱物性シンポジウムについて

戸谷先生を中心として、北海道での開催が提案された。山田雅彦規約等整備担当よりご連絡いただく。

(6) 40 周年記念事業について・・・・・・・・・・資料番号：19-4-6

宮崎 40 周年記念企画実行委員会委員長より、資料 19-4-6 に基づいて報告があった。

記念 DVD の発行が近づいてきた。

- ・ データはほぼ揃っている。
- ・ ATPC2013 のデータを田口先生を通じて入手する。
- ・ 第 40 回熱物性シンポジウムの内容までとする。
- ・ 前回の記念事業の時には中国の Wang 先生とアメリカの Haynes 先生にお願いしているが、お二人とも他界されているので、他の方に長坂国際連絡事務担当よりご連絡いただく。

(7) 各種委員会報告・・・・・・・・・・・・・・・・・・資料番号：19-4-7-1~5

編集委員会

田中編集委員会委員長より、資料 19-4-7(1)にもとづき報告がなされた。

表彰委員会

議題(3)で報告済

熱物性値サービス委員会

山田修史熱物性情報担当理事より資料 19-4-7-3 に基づきより報告があり、了承された。

広報委員会

元祐広報担当理事より、資料 19-4-7-4(1)および(2)に基づき HP 整備状況およびメーリングリスト運用状況に関する報告があり、了承された。

活動委員会

桃木企画担当理事より資料 19-4-7-5 に基づき、活動委員会の報告がなされた。

(8) 研究分科会報告・・・・・・・・・・・・・・・・・・資料番号：19-4-8-1~4

高温融体物性と材料プロセス

代理として齊藤評議員より、資料 19-4-8-1 にもとづき活動報告がなされた。

ふく射性質とその放射制御に関する研究会

代理として宮崎委員長より、資料 19-4-8-2(1)および(2)に基づき活動報告がなされた。

断熱材の熱物性計測と評価

代理として大村評議員より、資料 19-4-8-3(1)および(2)に基づき活動報告がなされた。

成果報告として冊子を作成・頒布することが平澤会長より提案された。

今後、研究分科会名およびメンバーを変更して活動を再開することが長坂国際連絡事務担当より提案された。

宇宙に関わる熱物性と制御

代理として平澤会長より、資料 19-4-8-4 に基づき活動報告がなされた。

(9) 事務局報告・・・・・・・・・・・・・・・・・・資料番号：19-4-9-1~3

森川副会長より、資料 19-4-9-1~3 に基づき、協賛関係、会員異動に関する報告がなされた。

日本熱科学研究支援機構への会費の出納依頼に関する質問が山田雅彦規約等整備担当よりあった。  
NPO 日本熱科学研究支援機構への業務委託契約は自動継続で行っている。今後は、毎年契約を更新する。

1月1日の3か月前、前年9月末までに契約を行うこととする。新規契約であれば、3か月前通知は不要である。今回に限っては、理事会でメール審議を行い、来年の契約を行う。元契約は破棄することが了承された。

(10)その他

森川副会長より、以下の説明・報告がなされた。

- ・年間スケジュール
- ・ATPC2022を日本で引き受けることになった。
- ・大西先生より、熱物性学会将来基金(寄付金)に関するご提案があり、受け入れることになった。寄付金は、学生ベストプレゼンテーション賞に充てるなどして、内部で切り分けて還元する。
- ・消費増税の影響は、学会員に対しては関係がない(会誌は無料配布のため)。会誌の年間定期購読は、現在、郵送料・消費税込みで6,000円である。来年も同じ金額を維持していく。実質会誌の値下げになってしまう。
- ・次期書記担当は山田評議員(中国・四国地区)にお願いすることになった。